

平成23年度 常緑果樹研究会  
開催要領

—果樹ゲノム研究の進展と今後の展望—

1. 趣旨

2011年、カンキツにおいても全ゲノム解読結果が公表された。遺伝子解析関連技術の急速な進展とも相俟って、カンキツ研究もようやく新たな時代のスタートラインに立った。今後は、ゲノム研究を現場の問題解決へ効率的に生かして行くことが重要となっている。そこでゲノム研究の最先端の専門家から、それぞれが目指す将来方向の一端を紹介いただくとともに、カンキツに関係する広い分野の研究者がゲノム研究への理解を深め、協力してカンキツ産業の発展に活用していく方策について論議する。

2. 日時

平成24年1月31日(火) 13:00～17:00  
2月 1日(水) 9:15～16:00

3. 場所

グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター ; <http://www.granship.or.jp/>)  
静岡市駿河区池田79-4 (JR東海道本線 東静岡駅南口側)  
電話: 054-203-5713

4. 主催

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所

5. 内容

1月31日(火)

＝全体会＝

～果樹ゲノム研究の進展と今後の展望～

座長: 農研機構 果樹研究所 中野 正明

1. カンキツのゲノム・バイテク研究 —これまでとこれから—

農研機構 果樹研究所 清水 徳朗

2. ゲノム情報の集積と園芸研究への利用

国立遺伝学研究所助教 神沼 英里

3. ナシ大果系のメタボローム解析

名古屋大学准教授 白武 勝裕

4. カンキツ果実離脱のトランスクリプトーム解析

京都大学教授 北島 宣

5. カンキツの開花生理と FT 研究

農研機構 果樹研究所 西川 芙美恵

2月1日(水)午前

## =分科会=

### I. 栽培・土壌肥料分科会

～地域振興・特産化に向けた栽培技術～

座長：農研機構 果樹研究所 深町 浩

1. ヒリュウ台温州ミカンの現地普及に向けた研究の取り組み  
長崎県農林技術開発センター 果樹研究部門 カンキツ研究室長 古川 忠
2. 自然形を基本としたハウスミカンの垣根仕立て  
大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 果樹グループ 主任研究員 矢野 拓
3. 施設栽培パッションフルーツの仕立て法  
沖縄県農業研究センター 名護支所 果樹班班長 仲宗根 智  
座長：農研機構 果樹研究所 草場 新之助
4. ウンシュウミカン新灌水指標の作成と灌水情報による高品質果実生産  
和歌山県農林水産総合技術センター果樹試験場主任研究員 鯨 幸和
5. 組立式天水槽による急傾斜ミカン園の省力かん水技術  
広島県立総合技術研究所農業技術センター果樹部副主任研究員 塩田 俊
6. マンゴーにおけるホウ素が関与する栄養障害とその対策  
鹿児島県農業総合開発センター果樹部研究専門員 上之菌 茂

2月1日(水)午後

### II. 育種分科会

～育種を支える技術と有用育種素材～

座長：農研機構 果樹研究所 吉岡 照高

1. 育種を支える技術と有用育種素材 (13:00～14:30)
  - (1) 合成周縁キメラ作出技術の可能性  
全農えひめ 営農振興課 脇塚 巧
  - (2) カンキツ育種における新たな遺伝資源・育種素材の利用  
広島県立総合技術研究所 農業技術センター 栽培技術研究部 柳本 裕子
2. 試験供試系統並びに公立試験研究機関等育成品種の展示および情報交換 (14:30～15:00)
3. 系統適応性特性検定試験等の進め方に関する事項およびその他 (関係者のみ、非公開)  
(15:10～16:00)

## 6. 参集範囲

果樹関係行政機関、独立行政法人試験研究機関、公立試験研究機関、公立機関専門技術員等、学識経験者、J A等関係者

## 7. 情報交換会

日時：1月31日（火） 18時より

場所：クーポール会館（〒420-0852 静岡市葵区紺屋町2-2、電話：054-254-0251）

会費：6,000円（予定）

## 8. 常緑果樹研究会出席申込方法

同封別紙の申込書にご記入の上、電子メール（申込書をPDF化して添付）、郵送またはファックスで送付してください。

送付先 〒424-0292 静岡市清水区興津中町485-6

果樹研究所 カンキツ研究興津拠点

常緑果樹研究会事務局 宛

電子メール： [okitsu-1@naro.affrc.go.jp](mailto:okitsu-1@naro.affrc.go.jp)

F a x 番号：054-369-2115

申込み期限 平成23年12月26日（月） 必着